

単元名「いしやといしゃ」 本時1/3 目標 拗音に関心を持ち、視覚化や動作化を通して清音や長音との違いを意識し、拗音を含む言葉を読むことができる。

時間	学習活動	予想される児童の反応	I C T活用を中心とした視覚化の目的と留意点 ※評価	I C T活用
5	1 これまでの復習をする。	○口をしっかりと開けて読もう。 ○ひらがなの使い方がわかってきたぞ。 ○手拍子もできるぞ。	○フラッシュ型の教材を使用して、これまで学習した文を読むとともに、促音、長音について復習をする。これまでの学習をより確かになるとともに、本時学習する拗音について考えるの为抓手となるようにしたい	パソコン プロジェクタ スクリーン フラッシュ型 教材 ワイヤレス ペンタブレット 実物投影機  NHK番組 大型テレビ レコーダー
5	2 拗音が入った文章を読む。	○小さいや・ゆ・よがある。 ○うまく読めないなあ。	○視聴する番組内容と関連ある単語が入った文章を読み、うまく読むことができないことを実感できるようにして、番組視聴の意欲を高めたい。	
7	3 番組「ことばドリル」の前半を視聴する。	○小さいや・ゆ・よがあるかどうかで、意味が変わるんだなあ。 ○小さいや・ゆ・よがあるひらがなもしっかり使えるようになりたい。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「なぜ？」と必要感や切実感を感じる場…教材とのかかわり 番組を視聴し、拗音のあるひらがなを学習する必要感を高める。 日常生活の中で拗音を適切に使わないと困る場面を見ることにより、拗音の発音と表記ができるようになりたいという意欲を高めたい。</p> </div>	
10	4 拗音について知る。	○小さいや・ゆ・よがあるときは、どんなふうに手拍子すればいいのかな。 ○パンパンパンは、手拍子が多すぎる。でもパンパンなら、「いし」になっちゃう ○小さいや・ゆ・よがあるひらがながあるときは、今までと違うようにたたこう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「そうか！」と納得できる自分の考えを導き出す場…他者とのかかわり これまで学習した言葉と比較し、拗音のあるひらがなの理解を図る。 番組で出てきた「いしや」「いしゃ」を声に出し、視覚化・動作化して比較する。さらに、これまでの促音や長音と比較することにより、拗音についての理解を深めさせたい。</p> </div>	
10	5 教科書や身の回りから拗音が含まれた言葉を見つけ、手拍子しながら読む。	○小さいや・ゆ・よがあるひらがなが増えてたくさんあるなあ。 ○よく使う言葉にも、小さいや・ゆ・よがたくさん入っている。 ○読んだり、手拍子したりできるようになってきた。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「たしかに！」と考えを確かにし、自信をもつ場…自己とのかかわり 番組ホームページの問題を解き、本時の学習を振り返る。 身の回りから拗音を含む言葉を集めたり、練習問題に取り組んだり、もう一度最初に提示した文章を読んだりすることで、本時で学習したこと、さらに学習すべきことを明確にし、次時の意欲につなげたい。</p> </div>	
8	6 本時を振り返る。	○小さいや・ゆ・よがあるひらがなの読み方がわかった。 ○始めの読み方よりじょうずになった。 ○次の時間は、正しく書けるようになりたい。	<p>※拗音を含む言葉を読むことができる(観察)</p> <p>○拗音の発音と表記について学んだあと、身の回りにある拗音を含んだ言葉を見つけたり、動作化、視覚化して比較したりすることにより、拗音の理解を深められるようにする。 ○拗音が含まれた言葉を板書する際、間違いを記述することにより、正しい表記を意識できるようにしたい。 ○拗音を含む言葉がうまく読めるようになったことをしっかり賞賛したい</p>	

次時について・・・2時間目は拗音の書き方と、拗長音の読み書き、3時間目は拗促音の読み書きを中心に学習を深める。